

小倉薬剤師会 3月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

【日時】 2019年 3月 19日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

「PF デラミ容器」点眼薬について (防腐剤無添加点眼液)

株式会社日本点眼薬研究所

- 【P S】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1, 2
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-81, 82

【特別講演】 19:15～20:30

座長 学術委員会 有吉 ちさと

演題 『緑内障治療の指導に必要な知識』

演者 大分大学医学部 眼科学

教授 久保田 敏昭 先生

<講演会要旨>

緑内障は、眼の圧力で視神経が傷つき、視野が狭くなっていく病気で、中途失明の原因の第1位です。緑内障学会で行った大規模調査(多治見スタディ)によると、40歳以上の日本人には、20人に1人の有病率になります。また、加齢とともに増加傾向にあり、高齢化にて益々増えていくことが予想されます。治療法として、眼圧下降により視機能を維持する(不可逆性にて進行を止める)こととなります。一般に、早期発見・早期治療によって失明という危険性を少しでも減らすことができる病気の一つであることは間違いありません。薬物治療では、プロスタグランジン製剤発売により、高い眼圧下降効果が認められるようになってきました。しかしながら、長期使用等により、耐性の問題及び防腐剤による角膜上皮障害が認められるようになり、問題となっております。

本講では緑内障の疾病と治療について、お話しいたします。
薬剤師として、緑内障の疾病と治療についてご理解を深めていただければ幸いです。

共催：(一社)小倉薬剤師会
株式会社日本点眼薬研究所

子育て中の薬剤師の先生方へ

会員の先生方からご要望があり、11月の学術研修会より、**小さなお子様同伴でも研修会にご参加いただけるように**、研修中は小倉薬剤師会館の**2階会議室も常時開放いたします。**

今まで、お子様が小さいがために研修会の参加を断念されていた方は、**これを機に奮って研修会にご参加ください。**なお、以下の点においてご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 2階会議室はサテライト会場のため、TVモニター越しでの聴講となります。研修会終了時にご質問等がある場合は、3階の研修室に移っていただかないとお受けできませんので、ご了承ください。
- 研修中は、小さなお子様ケガなどされないよう、保護者の責任のもと安全面へのご配慮をお願いいたします。